

6月は梅雨の季節です。傘を持っての外出が多くなり、アウトドアライフを楽しめる機会も少なくなりそうです。

しかし、梅雨といっても悪いことばかりではありません。この時期に解禁になるあじやしゅんであるきすなどがおいしく食べられるし、雨にぬれたあじさいなどを見るのも楽しいです。また、この時期の雨が農作物の収穫に大きく影響することから、農業に従事する人たちにとっては気になるところでしょう。

ところで、母の日にカーネーションを贈るのは知られていますが、父の日にはばらを贈る習慣はあまり知られていないのではないのでしょうか。

国内のばらの生産量は、愛知県と静岡県を合わせると、全国の2割を占めています。土壌の管理や病害虫の防除、また、鮮度を保つための最新技術によって高い品質を維持し、積極的な新しい品種の導入で150種類にも及ぶようです。

父の日はもともと、アメリカから伝わったものですが、まだ歴史は浅く、愛情の花言葉がある赤いばらを贈るのが一般的なようです。

日ごろ頑張っているお父さんにほっと一息ついてもらうために、父の日にはばらを贈ってみるのはいかがでしょうか。